

## 第 251 回価格審査委員会議事要旨

開催日時、場所	2024 年 9 月 17 日（火）午後 3 時 00 分～4 時 50 分 経済調査会会議室
出席委員	加藤佳孝、小路直彦、早川潤、野口貴文（委員長）（五十音順）

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果																								
<p>1. 前回議事概要の確認</p> <p>2. 「積算資料」10月号土木系資材の価格変動の妥当性について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事概要案が承認された。</li> <li>・ 審査対象資材のうち、10月号で掲載価格に変動が生じる土木系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</li> </ul> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; width: 30%;">&lt;品目&gt;</th> <th style="text-align: center; width: 20%;">[地区]</th> <th style="text-align: center; width: 50%;">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="padding-top: 10px;"><b>【上伸した資材】</b></td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td>青森、山形</td> <td>製造コスト、運搬コスト増加を理由に組合は今年4月より値上げを打ち出す。需要減少に危機感を強める組合が足並みをそろえて売り腰を強め、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td>仙台</td> <td>製造コスト増加を理由に組合は昨年10月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、今年6月以降、非組合員も値上げに追随し、値上げの一部が浸透して、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td>新潟</td> <td>製造コスト増加を理由に組合は今年4月より値上げを打ち出す。非組合員も値上げに追随しているが、大型物件では競合もみられ、値上げの一部が浸透して、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td>岐阜</td> <td>製造コスト、運搬コスト増加を理由に組合は今年4月より値上げを打ち出す。隣接地区の生コン価格上昇で安値流入が減少し、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>コンクリート用砂 (荒目) (細目)</td> <td>千葉、東京、横浜</td> <td>製造コスト増加等を理由に販売業者は今年4月より値上げを打ち出す。来年度に生コンの値上げを検討している主需要者である生コン工場が値上げを受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>コンクリート用砂 (荒目)</td> <td>静岡</td> <td>運搬費やプラント維持補修費等のコスト増加を理由にメーカーは今年4月より値上げを打ち出す。安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。</td> </tr> </tbody> </table>	<品目>	[地区]	(理由)	<b>【上伸した資材】</b>			生コンクリート	青森、山形	製造コスト、運搬コスト増加を理由に組合は今年4月より値上げを打ち出す。需要減少に危機感を強める組合が足並みをそろえて売り腰を強め、市況上伸。	生コンクリート	仙台	製造コスト増加を理由に組合は昨年10月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、今年6月以降、非組合員も値上げに追随し、値上げの一部が浸透して、市況上伸。	生コンクリート	新潟	製造コスト増加を理由に組合は今年4月より値上げを打ち出す。非組合員も値上げに追随しているが、大型物件では競合もみられ、値上げの一部が浸透して、市況上伸。	生コンクリート	岐阜	製造コスト、運搬コスト増加を理由に組合は今年4月より値上げを打ち出す。隣接地区の生コン価格上昇で安値流入が減少し、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。	コンクリート用砂 (荒目) (細目)	千葉、東京、横浜	製造コスト増加等を理由に販売業者は今年4月より値上げを打ち出す。来年度に生コンの値上げを検討している主需要者である生コン工場が値上げを受け入れ、市況上伸。	コンクリート用砂 (荒目)	静岡	運搬費やプラント維持補修費等のコスト増加を理由にメーカーは今年4月より値上げを打ち出す。安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
<品目>	[地区]	(理由)																							
<b>【上伸した資材】</b>																									
生コンクリート	青森、山形	製造コスト、運搬コスト増加を理由に組合は今年4月より値上げを打ち出す。需要減少に危機感を強める組合が足並みをそろえて売り腰を強め、市況上伸。																							
生コンクリート	仙台	製造コスト増加を理由に組合は昨年10月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、今年6月以降、非組合員も値上げに追随し、値上げの一部が浸透して、市況上伸。																							
生コンクリート	新潟	製造コスト増加を理由に組合は今年4月より値上げを打ち出す。非組合員も値上げに追随しているが、大型物件では競合もみられ、値上げの一部が浸透して、市況上伸。																							
生コンクリート	岐阜	製造コスト、運搬コスト増加を理由に組合は今年4月より値上げを打ち出す。隣接地区の生コン価格上昇で安値流入が減少し、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。																							
コンクリート用砂 (荒目) (細目)	千葉、東京、横浜	製造コスト増加等を理由に販売業者は今年4月より値上げを打ち出す。来年度に生コンの値上げを検討している主需要者である生コン工場が値上げを受け入れ、市況上伸。																							
コンクリート用砂 (荒目)	静岡	運搬費やプラント維持補修費等のコスト増加を理由にメーカーは今年4月より値上げを打ち出す。安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。																							

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果		
	コンクリート用砂 (荒目) (細目)	大津	製造コスト増加を理由に砂利採取組合は今年 8 月より値上げを打ち出す。需要堅調な中、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	コンクリート用砂 (荒目) (細目)	大分	製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは値上げを継続。採算悪化に危機感を強めるメーカーが売り腰を強め、市況上伸。
	コンクリート用砕石 クラッシュラン 再生クラッシュラン	鳥取	製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは値上げを打ち出す。粘り強い交渉の結果、徐々に値上げが浸透して、市況上伸。
	コンクリート用砕石 クラッシュラン	岡山	需要はやや低調ながら複数工場の閉鎖で需給はひっ迫気味に推移。製造コスト増加を理由にメーカーが今年 4 月に打ち出した値上げが浸透し、市況上伸。
	コンクリート用砕石 クラッシュラン 再生クラッシュラン	大分	製造コスト増加を理由にメーカーは今年 1 月より値上げを打ち出す。粘り強い交渉の結果、徐々に値上げが浸透し、市況上伸。
	クラッシュラン	富山	運搬費や採取地開発費用などのコスト増加を理由にメーカーは今年 4 月より値上げを打ち出す。供給量が減少する中、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	クラッシュラン 再生クラッシュラン	甲府	製造コスト増加を理由にメーカー、中間処理業者は今年 4 月より値上げを打ち出す。大型民間工事を機に売り腰を強め、市況上伸。
	クラッシュラン 再生クラッシュラン	松江	製造コスト増加を理由にメーカー、中間処理業者は今年 4 月より値上げを打ち出す。原発関連や市道改良工事で需要堅調な中、売り腰を強め、市況上伸。
	再生クラッシュラン	札幌	製造コスト、運搬コスト増加を理由に中間処理業者は今年 4 月より値上げを打ち出す。需給がひっ迫する中、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	軽油	全国	原油相場は下落し、為替も円高が進行しているが、補助金を含めた元売卸価格は上昇。販売業者は価格転嫁を進め、市況上伸。

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果	
再生加熱アスファルト混合物	新潟、富山、金沢、神戸、高松、高知	原材料のストアス価格は下落に転じたものの、依然として高値圏を維持。採算悪化による危機感を強めたメーカーは、値上げの未達分を求めて売り腰を強め、市況上伸。
ストレートアスファルト	那覇	沖縄地区では、県内唯一の油槽所を有するメーカーが7月以降の原油調達コスト増加を反映して値上げを実施し、市況上伸。
鉄筋コンクリートU形自由勾配側溝ベンチフリーウム	札幌、静岡、広島、山口、四国、佐賀、熊本	製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカー、製品協組は値上げを打ち出す。粘り強い交渉の結果、値上げが浸透して、市況上伸。
ヒューム管外圧管B形1種	富山、金沢、中部	製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは値上げを打ち出す。需要減少に危機感を強めるメーカーが足並みをそろえて売り腰を強め、市況上伸。
RCボックスカルバート	札幌、高松	製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは今年4月より値上げを打ち出す。7月以降、新規工事が発注されるにつれ売り腰を強め、市況上伸。
RCボックスカルバート	金沢	能登半島地震の影響で県内の運搬効率が低下し、運搬コストが増加したことを背景に、メーカーは今年4月より値上げを打ち出す。メーカーは足並みをそろえて売り腰を強め、市況上伸。
防舷材	全国	労務費や物流費の上昇を受けて、メーカーは販売価格の引き上げを実施。需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
コンクリート積みブロック	富山、松山	原材料、運搬コスト増加を理由にメーカーは値上げを打ち出す。供給メーカーが限られる中、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
【下落した資材】 異形棒鋼	東北、九州	引き合いが閑散とする中、メーカーは減産により需給バランスの調整を図り、価格の維持に注力している。特に需要の弱い東北、九州は販売店間の競合により、市況下落。



審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果			
<p>○「防護柵設置工（ガードパイプ）」について、大規模な新設工事はあまりなく、小規模の既設補修工事が中心とのことだが、職人確保が必要な状況か。</p> <p>5. 「建築施工単価」秋号建築工事費の価格変動の妥当性について</p>	防護柵設置工	全国	需要は小規模の維持修繕工事が中心。専門工事業者は材料費の上昇や物件の小口化によるコスト増加を理由に値上げ交渉を継続。採算確保に向けて専門工事業者が売り腰を強め、市況上伸。	
	吹付砕工	全国	専門工事業者は、主材料であるセメントと骨材価格上昇、職人確保のための労務コスト上昇を背景に値上げを表明。元請業者は理解を示して値上げの一部を受け入れ、市況上伸。	
	鉄筋工（港湾） 型砕工（港湾） コンクリート打設工（港湾）	全国	職人の待遇改善を背景として、専門工事業者は、元請業者に対して継続的に値上げを要請。元請業者は職人確保のため、値上げを受け入れ、市況上伸。	
			<p>・防護柵を施工している業者は区画線や標識等の施工も行っていて、作業員は様々な工種に携わっているため、人手が不足している状況である。また、防護柵設置工自体も新設は未供用道路で作業効率がよいが、補修は既供用区間のため、日当たり施工量が落ちる傾向がある。</p>	
			<p>・審査対象工種のうち、秋号で掲載価格に変動が生じる建築工種、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は次のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p>	
		<品目>	[地区]	(理由)
		<b>【上伸した工種】</b>		
鉄筋工事	全国	深刻な職人不足の中、総合工事業者は現場の労務確保を優先させており、価格交渉は専門工事業者優位の展開が続いている。専門工事業者の値上げが浸透し、市況上伸。		
型砕工事	全国	専門工事業者は、高い稼働率を背景に強気の交渉を継続。総合工事業者は、労務確保を優先して値上げを受け入れ、市況上伸。		
絶縁電線工事	全国	再開発事業向け等で需要は堅調。職人不足の中、専門工事業者は待遇改善によるコスト増を理由に値上げを表明。労務確保を優先する総合設備工事業者は値上げを受け入れ、市況上伸。		
ダクト工事	全国	再開発工事を中心に需要は堅調に推移。専門工事業者は、高い稼働率を下支えに労務費などのコスト上昇分を転嫁すべく、強気の価格交渉に臨み、値上げの一部が浸透して、市況上伸。		

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果
<p>○「ダクト工事」について、全国的に価格が上昇している中、東京地区の状況について詳細説明があったが、他の地区はどのような状況か。</p> <p>6. その他</p> <p>(1) 次回開催予定</p>	<p>・需要については、首都圏近郊では再開発案件、データセンターなど、北海道、東北、九州では半導体工場関連などが特に目立っているが、全国的に設備工事全般で需要は増えている。ダクト工事は工場加工が可能なものは現場に近い工場に対応することが多いが、労務がひっ迫している状況下で、現場作業については他地区から手配するケースも見られる。</p> <p>・2024年10月17日（木）10時～12時と決定。</p> <p style="text-align: right;">(以 上)</p>

## 価格審査委員会規約

### (目的)

第 1 条 一般財団法人 経済調査会が実施する資材価格及び工事費(以下「資材価格等」という。)の調査結果について、その妥当性を高め調査の信頼性を向上させることを目的として、第三者による価格審査委員会(以下「委員会」という。)を設置するものとする。

### (委員会の事務)

第 2 条 委員会は、代表理事の委嘱に基づき、次の事務を行う。

- 一 資材価格等(定期刊行物に掲載するものに限る。以下同じ。)の調査結果の妥当性について審査すること。審査は公共工事において重要度の高い品目、工事費を選定して行うものとする。
- 二 その他資材価格等の調査に関して必要と認められる事項について審議すること。

### (委員会の委員及び任期)

第 3 条 委員は公正中立の立場で審査を適切に行うことのできる学識経験等を有する者のうちから、代表理事が委嘱する。

- 2 委員会は、委員 8 人以内で組織する。
- 3 委員の任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。また、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、非常勤とする。

### (委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。

- 2 委員長は、委員会を代表する。
- 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

### (委員会の開催)

第 5 条 委員会は、委員長が招集し、原則として毎月 1 回開催する。

### (審査の報告・助言)

第 6 条 委員会は、第 2 条により審査の対象となった事項に関し、必要に応じて代表理事に対し審査結果の報告または助言を行う。

### (意見等の聴取)

第 7 条 委員会は、第 2 条の事務を行うにあたり、必要に応じて委員以外の者から意見等を聴取することができる。

(秘密を守る義務)

第 8 条 委員は第 2 条の事務を処理する上で知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(事務局)

第 9 条 委員会の事務局は、一般財団法人 経済調査会 調査監理部審査室に置く。なお事務局は価格動向、価格変動理由等の資料を委員会に提出するものとする。

附則

この規約は、平成 15 年 11 月 13 日から施行する。

この規約は、平成 16 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 18 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 21 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 24 年 6 月 15 日から改定施行する。